

問1 アフリカ諸国の経済統計において、ナイジェリアでは輸出総額の約82%を原油が占め、ボツワナでは輸出総額の約88%をダイヤモンドが占めている状況があります。このような少数の一次産品に依存する経済構造が抱える問題点として、最も適切なものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 国際的な取引価格の変動により、国家の収入が大きく左右され、経済が不安定になる。
2. 高度な技術を要する工業製品の輸入が禁止され、国内の産業が発展しなくなる。
3. 農産物の輸出を増やすことで、国内の食料自給率が常に100%を超えるようになる。
4. 他国との関税が撤廃されるため、近隣諸国との間で経済格差が完全になくなる。

問2 西アフリカの国々では、特定の農産物や鉱産資源の輸出が国家経済において大きな割合を占めています。2017年の統計において輸出額の約28%をカカオが占めるコートジボワールや、2018年の統計において輸出額の8割以上を原油が占めるナイジェリアのように、少数の産品の輸出に過度に依存する経済体制を何と呼びますか。（2024年 沖縄公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済
2. プランテーション農業
3. 輸入代替工業化
4. 知識集約型産業

問3 アフリカ西部のギニア湾沿いに位置するコートジボワールのように、カカオなどの特定の農産物や鉱産資源の生産・輸出に、国の経済が過度に依存している状態を何と呼びますか。（2020年 愛知公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済
2. 加工貿易
3. 地産地消
4. 自由貿易

問4 アフリカ最大の人口を抱えるナイジェリアでは、2023年の輸出統計において、輸出全体の80.6パーセントを原油が占め、液化天然ガス（9.2パーセント）などの限られた資源に頼る貿易構造となっています。このように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に国家の経済が大きく依存している経済構造を何といいますか。（2026年 高知公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済
2. 多角経営
3. 混合農業
4. 輸入代替工業化

問5 コートジボワールのカカオ豆生産量が世界の約37%、ガーナが約18%を占めるように、特定の農作物や資源の輸出に過度に依存する経済を「モノカルチャー経済」と呼びます。この経済体制において、国家の経済が不安定になりやすい最大の理由として適切な説明はどれですか。（2022年 鳥根公立入試 類似）

1. 国際的な需要や天候による価格の変動が、国家の財政に直接大きな影響を与えるため
2. 複数の作物を同時に育てるため、特定の害虫による被害が全国に広がりやすいため
3. 工業製品の輸入を完全に禁止しなればならず、国内の近代化が遅れるため
4. 先進国への輸出が制限されており、常に国内で在庫が余ってしまうため

問6 アフリカ東部に位置するケニア共和国の貿易について、2022年の統計では「茶」が輸出総額の約18.8%を占め、次いで「切り花」や「野菜・果実」が上位に入っています。これら上位3品目だけで輸出総額の3割を超えるという特徴が見られますが、この国の産業について述べた文として正しいものはどれか、次の中から選びなさい。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 高原地帯の涼しい気候を活かした茶の栽培や、航空便を利用した切り花の輸出が盛んである。
2. ギニア湾沿岸の気候を活かしたカカオの栽培が中心であり、輸出の大部分をカカオ豆が占めている。
3. 豊富な埋蔵量を背景に、輸出総額のほとんどを原油や天然ガスなどの鉱産資源が占めている。
4. 安価な労働力を背景とした工業化が急速に進み、現在は自動車や電子部品が輸出の主軸となっている。

問7 アフリカ大陸南端に位置するケープタウンでは、一月の気温が約二十度と最も高く、七月の気温が約十二度と最も低くなります。また、降水量は六月から八月に月間八十ミリメートル以上に達しますが、一月前後は二十ミリメートル以下と非常に少なくなります。このような気候が形成される背景や理由として正しい説明はどれですか。（2015年 山口公立入試 類似）

1. 南半球の中緯度帯に位置し、夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬は偏西風の影響で雨が降るため。
2. 南半球の低緯度帯に位置し、一年中強い日差しを浴びることで上昇気流が発生し、毎日スコールが降るため。
3. 寒流であるベンゲル海流の影響を一年中強く受けることで、気温が上がらず降水量が極端に少なくなるため。
4. 高い山脈に季節風が遮られることで、一月前後には山を越えた乾燥した風が吹き下ろすフェーン現象が起きるため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 国際的な取引価格の変動により、国家の収入が大きく左右され、経済が不安定になる。	少数の資源や作物に頼るモノカルチャー経済では、その製品の国際価格が暴落した際に国全体の財政が大きな打撃を受けます。これを克服するため、多くの国で産業の多角化（他の工業などの育成）が目指されています。
問2	<b>答え 1</b> モノカルチャー経済	アフリカの多くの国々では、植民地時代の歴史的背景などから、特定の農作物や鉱産資源の輸出に頼る「モノカルチャー経済」が形成されてきました。コートジボワールのカカオやナイジェリアの原油はその典型的な例です。この経済構造は、国際価格の変動や天候による収穫量の増減が、国家の財政や国民の生活に直接的かつ甚大な影響を及ぼすという不安定さを抱えています。
問3	<b>答え 1</b> モノカルチャー経済	開発途上国に多く見られる経済構造で、単一（モノ）の産品に頼ることからこのように呼ばれます。特定の作物や資源の輸出に頼りすぎると、その産品の国際価格が暴落した際に、国全体の経済が深刻な打撃を受けるという弱点があります。
問4	<b>答え 1</b> モノカルチャー経済	ナイジェリアのように、特定の一次産品の輸出に頼り切っている状況をモノカルチャー経済と呼びます。2023年のデータでは輸出の約8割が原油、約1割が液化天然ガスとなっており、輸出総額のほとんどをわずかな品目のみが占めているのが特徴です。この言葉は、単一のことを意味する「モノ」と、栽培や文化を意味する「カルチャー」に由来しています。
問5	<b>答え 1</b> 国際的な需要や天候による価格の変動が、国家の財政に直接大きな影響を与えるため	特定の産品に頼りすぎる経済は、国際市場での価格暴落や不作の際、他に代わる収入源がないため国全体の経済が深刻な打撃を受けます。このような不安定な状況を打破するため、現在のアフリカ諸国では産業の多角化や工業化が課題となっています。
問6	<b>答え 1</b> 高原地帯の涼しい気候を活かした茶の栽培や、航空便を利用した切り花の輸出が盛んである。	ケニアは赤道直下に位置していますが、国土の多くが標高の高い高原地帯であるため、比較的涼しい気候を利用した茶の栽培が非常に盛んです。また、近年では輸送技術（航空貨物）の発達により、鮮度が重視される切り花や野菜・果実の輸出も拡大しており、これら特定の農産品が輸出の3割を超える大きな柱となっています。なお、原油の輸出に依存しているのはナイジェリアなどの特徴です。
問7	<b>答え 1</b> 南半球の中緯度帯に位置し、夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬は偏西風の影響で雨が降るため。	ケープタウンで見られる「夏に乾燥し、冬に雨が降る」という地中海性気候のメカニズムを問う問題です。夏季には亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）に覆われるため乾燥し、冬季には偏西風の通り道となることで温帯低気圧の影響を受けやすくなり、降水がもたらされます。一月が夏、七月が冬となるのは、南半球に位置していることによる季節の逆転現象です。